

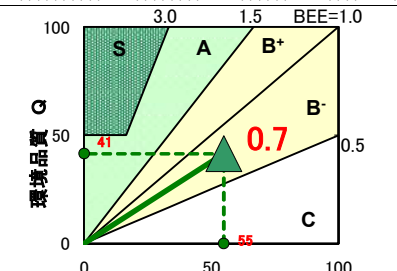
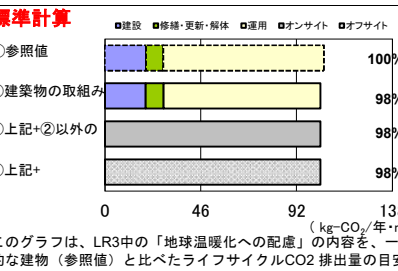
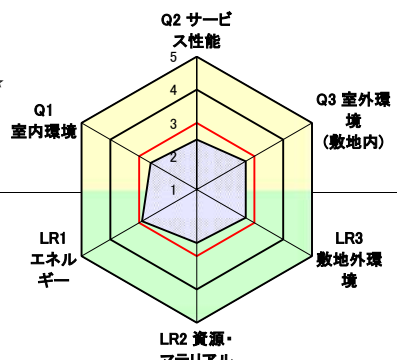
CASBEE®-建築(新築)

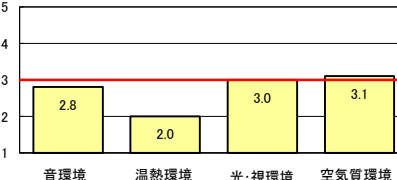
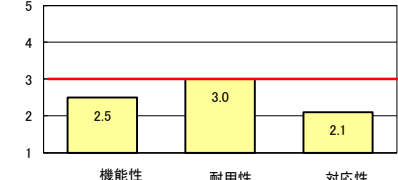
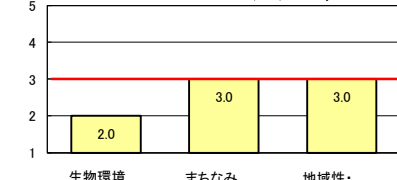
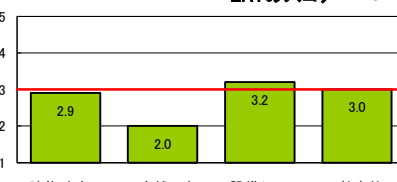
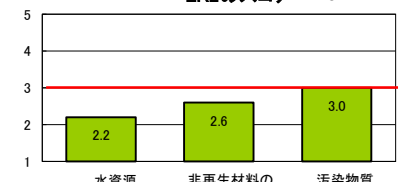
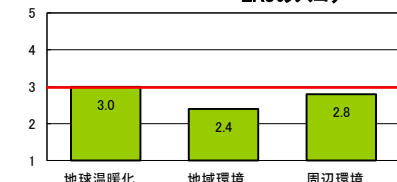
評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)入間市豊岡1丁目計画新築工	階数	地上10階
建設地	埼玉県入間市豊岡1丁目154-1(	構造	RC造
用途地域	商業地域、22条区域	平均居住人員	104 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,集合住宅,	評価の段階	
竣工年	2025年5月 予定	評価の実施日	2024年4月25日
敷地面積	609 m ²	作成者	
建築面積	356 m ²	確認日	2024年4月25日
延床面積	2,798 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 0.7 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★ 	標準計算 30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆ 	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.6 	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.5 	Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア= 2.7 
LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR1のスコア= 2.9 	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.6 	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.7 

3 設計上の配慮事項		
総合 各住戸の良好な室内環境の確保を目標に計画する。		その他 0
Q1 室内環境 遮音性の高い界壁を使用したり、十分な開口面積を確保し自然換気性能を計画し、良好な空気質環境を提供する。	Q2 サービス性能 給排水配管にも、更新必要間隔の長い素材を採用する。埼玉県建築物バリアフリー条例・埼玉県まちづくり条例届出済。	Q3 室外環境 (敷地内) 地域の景観との調和に配慮した計画をしている。舗装面積を少なく計画し、可能な限りの緑化計画をしている。
LR1 エネルギー BEI=0.97。エネルギー消費性能基準に配慮した設備の高効率化を計画している。	LR2 資源・マテリアル 解体時の分別に容易なLGS工法を採用している。	LR3 敷地外環境 特になし

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)入間市豊岡1丁目計画新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート								
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								2.6
Q1 室内環境					0.40		-	2.6
1 音環境				2.0	0.15	3.0	1.00	2.8
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音				1.0	0.50	3.0	0.50	
1 開口部遮音性能				1.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能				3.0	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音				3.0	0.01	3.0	-	
2 温熱環境				2.0	0.35	2.0	1.00	2.0
2.1 室温制御				3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室温				3.0	0.62	3.0	0.63	
2 外皮性能				3.0	0.37	3.0	0.38	
3 ゾーン別制御性				3.0	0.01		-	
2.2 湿度制御				1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式				1.0	0.30	1.0	0.30	
3 光・視環境				2.0	0.25	3.3	1.00	
3.1 昼光利用				1.8	0.43	1.4	0.30	
1 昼光率				1.0	0.58	1.0	0.50	
2 方位別開口				-	-	1.0	0.30	
3 昼光利用設備				3.0	0.42	3.0	0.20	
3.2 グレア対策				-	-	4.0	0.30	
1 昼光制御		カーテンと庇の組み合わせで制御。		-	-	4.0	1.00	
3.3 照度				1.0	0.21	3.0	0.15	
3.4 照明制御		在室者の位置・行動に合わせて部分照明の制御が可能。		3.0	0.36	5.0	0.25	
4 空気質環境				2.9	0.25	3.2	1.00	3.1
4.1 発生源対策				3.0	0.60	3.0	0.63	
1 化学汚染物質				3.0	1.00	3.0	1.00	
4.2 換気				3.0	0.40	3.6	0.38	
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		居室床面積の1/6以上の自然換気有効開口面積を確保		-	-	5.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理				1.0	0.01		-	
1 CO ₂ の監視				1.0	1.00		-	
2 喫煙の制御				-	-		-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	2.5
1 機能性				2.2	0.40	2.6	1.00	2.5
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性				-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応				-	-	3.0	1.00	
3 バリアフリー計画				3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観				1.0	0.01	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース				2.0	0.01	-	-	
3 内装計画				1.0	0.98	1.0	0.50	
1.3 維持管理				2.5	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保				2.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30		-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主な用途上位3種の、2種以上にB以上を使用し、Eは不使用。		5.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		-	
2.4 信頼性				2.4	0.20		-	
1 空調・換気設備				3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20		-	
3 電気設備				3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法				1.0	0.20		-	
5 通信・情報設備				3.0	0.20		-	

3 対応性・更新性		2.9	0.30	2.0	1.00	2.1
3.1 空間のゆとり		2.0	0.01	1.0	0.50	
1	階高のゆとり	2.0	1.00	1.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	-	-	1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.01	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		3.0	0.98	-	-	
1	空調配管の更新性	3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性	3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性	3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	2.8
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	2.9
1 建物外皮の熱負荷抑制		2.9	0.20	-	-	2.9
2 自然エネルギー利用		2.0	0.10	-	-	2.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.97	3.2	0.50	-	3.2
4 効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価		-	-	-	-	
4.1	モニタリング	-	-	-	-	
4.2	運用管理体制	-	-	-	-	
集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング	3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.6
1 水資源保護		2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水		1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		2.6	0.60	-	-	2.6
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		4.0	0.20	-	-	
		解体時に分別が容易なLGS工法を採用している。				
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
1	消火剤	-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	3.0	0.50	-	-	
3	冷媒	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	2.7
1 地球温暖化への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
2 地域環境への配慮		2.4	0.33	-	-	2.4
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減	3.0	0.25	-	-	
2	污水处理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮		2.8	0.33	-	-	2.8
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1	騒音	3.0	0.33	-	-	
2	振動	3.0	0.33	-	-	
3	悪臭	3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制	3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制	1.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制	3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制		2.3	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策	2.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県

重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

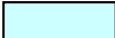
建物名称	(仮称)入間市豊岡1丁目計画新築BEE	0.7	BEEランク	★★
------	---------------------	-----	--------	----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア 緑の保全・創出のスコア			
3.0	+	2.3	= 5.3
重点項目の各スコアの合計点			
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上  	非常によい 6.8以上   	すばらしい 8.0以上    

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.0
特になし。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.3
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0
舗装面積を少なく計画し、可能な限りの敷地内緑化計画をしている。			

 : 入力欄